

有害物質分布等調査（案）について

- ・有害物質分布等調査（案）
- ・有害物質分布等調査 計画位置図
- ・有害物質分布等調査 調査計画断面図

有害物質分布等調査（案）

1 目的

本調査は、宮城県村田町に設置された竹の内地区産業廃棄物最終処分場（以下「処分場」という。）の対策を総合的に検討・実施するため、埋立廃棄物量等調査における高密度電気探査を補完し、処分場に埋め立てられた廃棄物の種類及び有害性を含む性状や分布状況を把握・推定することを目的とする。

2 調査内容

本調査は、表層ガス等調査と廃棄物性状等調査の2つの調査と総合解析より構成される。

(1) 表層ガス等調査

埋立廃棄物量等調査において実施した表層ガス等調査の結果に基づき、温度、硫化水素、可燃性ガス、揮発性有機化合物（VOC）が高濃度で検出されたグリッド地点周辺について、廃棄物層内の反応状況や有害物質の分布状況を把握するため、自走式ボーリング機械により15mグリッドまで調査密度を上げ廃棄物層界面まで削孔し、調査する。

調査項目は、地温、硫化水素、酸素、二酸化炭素、一酸化炭素、可燃性ガス（メタン）、揮発性有機化合物（VOC）とする。

又、掘削に際し、覆土層について、土質、厚さ等可能な範囲で調査する。

(2) 廃棄物性状等調査

上記(1)表層ガス調査の結果及び埋立廃棄物量等調査の高密度電気探査の結果に基づき、基岩層までボーリングを行い、埋立廃棄物の種類を分析すると共に、廃棄物の埋立深度別有害性等の分析や評価を行う。

また、ボーリング孔内の水質等を調査する。

(3) 総合解析

本調査及び既存の調査結果を総合的に検討、解析し、以下の成果を得るもの。

- ① 埋立廃棄物量の確定
- ② 廃棄物の種類・性状及び分布状況
- ③ 有害物質等の存在及び分布状況
- ④ 地温、ガス濃度等の平面分布図（濃度線図）等
- ⑤ 処分場内の汚染状況及び周辺環境に対する影響推定

3 調査期間

約3ヶ月

汚染調査項目一覧

調査項目	分析試料					
	廃棄物		土壌		浸透水・地下水	コアガス
	溶出試験	含有量試験	溶出試験	含有量試験		
1 カドミウム及びその化合物	○	○	○	○	○	
2 シアン化合物	○	○	○	○	○	
3 有機リン化合物	○	○	○	○	○	
4 鉛及びその化合物	○	○	○	○	○	
5 六価クロム化合物	○	○	○	○	○	
6 ヒ素及びその化合物	○	○	○	○	○	
7 総水銀化合物	○	○	○	○	○	
8 アルキル水銀化合物	○	○	○	○	○	
9 P C B	○	○	○	○	○	
10 トリクロロエチレン	○	○	○	○	○	
11 テトラクロロエチレン	○	○	○	○	○	
12 ジクロロメタン	○	○	○	○	○	
13 四塩化炭素	○	○	○	○	○	
14 1, 2-ジクロロエタン	○	○	○	○	○	
15 1, 1-ジクロロエチレン	○	○	○	○	○	
16 シス1, 2-ジクロロエチレン	○	○	○	○	○	
17 1, 1, 1-トリクロロエタン	○	○	○	○	○	
18 1, 1, 2-トリクロロエタン	○	○	○	○	○	
19 1, 3-ジクロロプロペン	○	○	○	○	○	
20 チラム	○	○	○	○	○	
21 シマジン (C A T)	○	○	○	○	○	
22 チオベンカルブ	○	○	○	○	○	
23 ベンゼン	○	○	○	○	○	
24 セレン	○	○	○	○	○	
25 ほう素及びその化合物	○	○	○	○	○	
26 ふつ素及びその化合物	○	○	○	○	○	
27 アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物					○	
28 ダイオキシン類		○			○	
29 [水質一般項目]					○	
30 pH					○	
31 生物化学的酸素要求量 (BOD)					○	
32 化学的酸素要求量 (COD)					○	
33 浮遊物質量 (SS)					○	
34 電気伝導度					○	
35 酸化還元電位					○	
評価・検討基準等	○金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準	○土壤汚染対策法に係る指定基準 ○金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準	○土壤汚染対策法に係る指定基準		○産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準	



